

生分解マルチ

保湿抜群!  
展張抜群!

# がくぶちくん

これからの  
マルチは  
「がくぶちくん」

なが〜く  
保管できちゃう  
「がくぶちくん」

分解革命  
「がくぶちくん」

ポリエチレンやポリプロピレンなど微生物分解が困難とされる難分解性プラスチックを、微生物分解へと導く画期的な添加剤を使用しています。これまでの生分解マルチとは違い保湿性に大変優れて、一般マルチと同様に展張する事が出来ます。

STEP  
1

展張  
がくぶちくん

STEP  
2

酸化物形成・  
低分子化  
がくぶちくん

STEP  
3

微生物分解  
がくぶちくん

「がくぶちくん」は、  
2段階のステップを経て  
二酸化炭素と水に  
分解します。

自然界の太陽(光)・熱などのエネルギー源で、「がくぶちくん」マルチフィルムは、触媒作用により徐々に官能基を持つ低分子化合物へ変化します。この作用により、マルチフィルムの物性(伸び、強度)も徐々に低下していきます。

STEP2にて形成された低分子化合物(例えば、カルボン酸、アルコール類)は、土中の微生物により消化吸収されます。最終的には、微生物の体内に蓄えられると同時に、呼吸などの代謝活動によりCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)やH<sub>2</sub>O(水)へと変化します。

## 素早く分解させるポイント!

太陽にあたる部分から分解が始まります。土中に隠れている部分(緑の部分)は分解速度が遅いため、土中のマルチを取り出し、太陽が当たるように飛散防止ネットをかけて置いてください。約1ヶ月で簡単に裂ける状態になりますので、すき込むか、または土をかける事により微生物分解を促します。



直射日光に当たる事により分解速度が早まります。

P-Lifeは、植物油から製造された安全性の高いものです。P-Lifeは、プラスチックの物性や加工性に影響を与えません。P-Life



土中のマルチフィルム

# 「がくぶちくん」は、太陽光と土中の微生物の力により 水と二酸化炭素に分解します。

## 分解事例

展張期間は約5~6ヶ月タイプです。

### 展張 1日目 /

慎重に行う必要がなく  
一般マルチを展張するように行える



### 1ヶ月目 /

フィルムの状態に変化なし  
保湿性があり水滴が見られる



### 3ヶ月目 /

フィルムの弾力がなくなり簡単に破ける  
微生物分解に移行



### 5ヶ月目 /

微生物分解しフィルムの多くの箇所が  
土がむき出しになっているのが分かる

ロータリーですき込む風景

ロータリーですき込んだ後の  
土にあったフィルムの破片  
約20cmくらいの長さに



※撮影:3月~8月 ※天候条件(高温や多雨など)、季節、土壌等により分解速度が異なります。



## 生産者の声

展張しやすくていいね!  
今までのマルチは  
切れやすいからね。

保湿性があるから  
驚きました。

乳白なので  
雑草が生えてしまうのではないかと  
心配しましたが、生えなかったのが  
びっくりしました。

詳しい規格に  
ついてはこちら!



## ご使用上の注意事項

- 保管時はポリ袋などに入れ、高温多湿、直射日光を避け風通しの良い冷暗所に保管してください。
- がくぶちくん(展張時、土中にある部分)を剥ぎ取る場合は、回収したフィルムに飛散防止ネットをかけて直射日光が当たるように置き、約1ヶ月後(条件による)にすき込むか、土をかぶせて飛散しない様にしてください。
- フィルムを剥ぎ取らず、すき込み処理をする場合は飛散しないように土中に埋めてください。但し、土中にあった部分(展張時)は直射日光に当たらない為、分解速度は遅くなります。または、ロータリーに絡みつく可能性があります。
- フィルムの分解が進んでいない場合、すき込み時にロータリーに絡みつく可能性がありますので確認の上すき込み作業を行ってください。
- 分解したフィルムの破片が作物に付着した場合は、速やかに破片を取り除いてください。
- 圃場や気候条件などによって、早期分解や破れの恐れがあります。
- 当フィルムを使用した際の作物、圃場への損害につきましては当社では賠償いたしません。

お問合せ先

MRL エム・アールロジ株式会社 営業部 TEL:0280-23-1030 [受付時間 / 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)]

Mail: info@m-rloji.co.jp

エム・アールロジ株式会社



2024.09